

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-301403

(43) 公開日 平成9年(1997)11月25日

(51) Int.Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所	
B 6 5 D	47/08		B 6 5 D	47/08	F
	43/16			43/16	A
	43/24			43/24	A

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-118668

(22) 出願日 平成8年(1996)5月14日

(71) 出願人 000160223

吉田工業株式会社

東京都墨田区立花5丁目29番10号

(72) 発明者 石川 達夫

東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社内

(72) 発明者 手嶋 憲三

東京都墨田区立花5丁目29番10号 吉田工業株式会社内

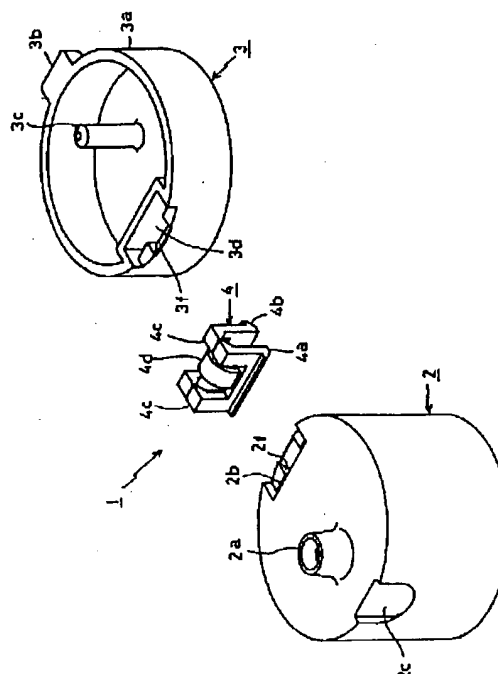
(74) 代理人 弁理士 中川 周吉 (外1名)

(54) 【発明の名称】 ヒンジキャップ

(57) 【要約】

【課題】 本発明の目的は、キャップ本体、蓋体、さらにヒンジのそれぞれを別体で構成し、両者を別色で形成することを可能とし、キャップ本体及び蓋体の材質を自由に選択できるヒンジキャップを提案することにある。

【解決手段】 キャップ本体2と蓋体3とがスナップヒンジ4で連結されたヒンジキャップ1であって、これらキャップ本体2、蓋体3、スナップヒンジ4をそれぞれ別色または別材質で形成した別体とし、前記スナップヒンジ4の両側に係合部4a、4bを形成し、前記キャップ本体2及び前記蓋体3の周側面に係合孔2b、3dを形成し、該係合孔に前記スナップヒンジ4の係合部4a、4bを固定してキャップ本体2と蓋体3とを連結したヒンジキャップ1を構成して、上記課題を解決する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 キャップ本体と蓋体とがスナップヒンジで連結されたヒンジキャップであって、これらキャップ本体、蓋体、スナップヒンジをそれぞれ別色または別材質で形成した別体とし、前記スナップヒンジの両側に係合片を形成し、前記キャップ本体及び前記蓋体のそれぞれの周側面に係合孔を形成し、該係合孔に前記スナップヒンジの係合爪を固定してキャップ本体と蓋体とを連結したことを特徴とするヒンジキャップ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、キャップ本体と蓋体とがヒンジで連結されたヒンジキャップであって、特に両者を別色または別部材としたヒンジキャップに関するものである。

【0002】

【従来の技術】容器本体を押圧し、内容物を搾り出して使用する容器が化粧品や食料品の分野で広く使用されるが、その容器のキャップとしてキャップ本体に取出口を形成し、蓋体をスナップヒンジで連結したヒンジキャップが広く用いられている。特に、スナップヒンジを用いたキャップは、蓋体を開けた際、開いた状態を維持することができ、容器を傾けた場合も蓋が倒れることがなく使い勝手がよいという特長を有している。この種のヒンジキャップとしては、実公平6-3804号公報に記載されるものが存在する。かかるスナップヒンジは、蓋体とスナップヒンジとを一体に形成し、スナップヒンジの先端をキャップ本体に形成した係合孔に挿入して固定している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記した従来のヒンジキャップでは、スナップヒンジのバネ片（連結片）がキャップの頂頭部から形成されており、外観を整える必要がある容器（例えば、化粧品容器）の場合、見栄えが良くなく、実用的ではなかった。

【0004】また、スナップヒンジは所定の伸縮率をもつバネ片を有するために、従来のようにヒンジを、キャップ本体及び蓋体と一体に形成したものでは、蓋体全体をこの性質をもつ材質で成形しなければならず、例えば、蓋体に特殊な質感を持たせたくても、かかる材質的制約のために従来のヒンジキャップでは実現不可能な場合があった。

【0005】そこで、本発明の目的は、スナップヒンジを蓋体またはキャップ本体の周側面に形成し、スナップヒンジが目立つことなく、且つ、蓋体とキャップ本体を別色で形成することを可能とし、美観に優れたヒンジキャップを提供することにあり、さらに本発明の他の目的は、蓋体とスナップヒンジとは別体として、蓋体の成形材質がスナップヒンジの成形材質に制約されないヒンジキャップを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明はキャップ本体と蓋体とがスナップヒンジで連結されたヒンジキャップであって、これらキャップ本体、蓋体、スナップヒンジをそれぞれ別色または別材質で形成した別体とし、前記スナップヒンジの両側に係合爪を形成し、前記キャップ本体及び前記蓋体のそれぞれの周側面に係合孔を形成し、該係合孔に前記スナップヒンジの係合爪を固定してキャップ本体と蓋体とを連結したヒンジキャップにより上記課題を解決する。

【0007】

【発明の実施の形態】図を用いて本発明に係るヒンジキャップの実施例を説明する。図1は実施例に係るヒンジキャップの分解斜視図、図2は蓋体を閉じた状態の同ヒンジキャップの断面図、図3は蓋体を開いた状態の同ヒンジキャップの断面図、そして図4は同ヒンジキャップの背面図である。

【0008】図1乃至図4に示すように、ヒンジキャップ1は、別体であるキャップ本体2、蓋体3、さらにスナップヒンジ（以下、単にヒンジという）4から構成される。少なくともキャップ本体2と蓋体3とは別色の合成樹脂により形成され、ヒンジ4を介して、両者を連結して構成されるヒンジキャップ1は二色模様を有する。

【0009】キャップ本体2は円筒状の外観形状を有し、その上面中央部には、ヒンジキャップ1が係合する、図示しない容器本体の内容物を取出すための注出口2aが形成されている。また、かかるキャップ本体2の一側面には、後述するヒンジ4の係合爪4aがはめ込まれる係合孔2bが形成され、反対側の側面には蓋3を開く際に使用者が指を引っ掛け易くするためのくぼみ2cが形成されている。

【0010】図2及び図3に示すように、キャップ本体2は、断面が円形の外側スリーブ2Aと同様に円形断面の内側スリーブ2Bとにより二重構造を有する。上記した係合孔2bは、これら外側スリーブ2Aと内側スリーブ2Bとの間の空間に開口するように設けられる。そして、係合孔2bの内側には、ヒンジ4の係合爪である第一係合爪4aが噛合する係合段差2dが形成されている。

【0011】キャップ本体2の内側スリーブ2Bは略円筒形の形状を有し、内周面にはネジ2eが切つてある。このネジ2eを図示しない容器本体の口に螺合させることにより、ヒンジキャップ1を容器本体に係合させる。

【0012】蓋体3は、キャップ本体2と同じ円形断面を有する形状を有する。蓋体3の外周にはスリーブ状に立設片3aが立上り、一側面に蓋3を開ける際、指をかける引き上げ突起3bが形成される。また、蓋体3の内面には軸状の突起3cが形成されており、蓋体3をキャップ本体2に対して閉じた際、この突起3cがキャップ

2の注出口2aを塞ぐ構造となっている。蓋体3の、上

3

記引き上げ突起3bと反対側の側面には、後述するヒンジ4の第二係合爪4bを挿入する係合孔3dが開口し、この内側には、この第二係合爪4bが噛合する係合段差3eが形成されている。

【0013】図1及び図4に示すように、ヒンジ4の両端には第一係合爪4a、第二係合爪4bが形成されており、これら2つの係合爪4a、4bは、二つの屈折片4c、4cと、その間に形成されるバネ片4dにより連結される。ヒンジ4は、可撓性を有する合成樹脂により形成されている。屈折片4cは中央部が線状に薄くなって10 屈折部Xとなっており、ヒンジ4の成形材料の弾性に関らず、この部分を中心に折り曲げることができる。また、バネ片4dは板体であって、その成形材料の弾性によりその長さ方向に伸縮することができる。

【0014】かかるヒンジ4の係合爪4a、4bをそれぞれキャップ本体2及び蓋体3の係合孔2b、3dに挿入することにより、ヒンジ4を介して、キャップ本体2と蓋体3とを結合させる。蓋体3はヒンジ4の屈折片4c、4cを支点に回動し、蓋体3がキャップ本体2に対して閉じられると、両者は形状的に一体化し、キャップ1が構成される。20

【0015】上記したとおり、屈折片4cとバネ片4dとからなるヒンジ4は、一般的にスナップヒンジと呼ばれる。図3に示すように、ヒンジ4は屈折片4cの屈折部Xを中心に蓋体3を回動させるが、この屈折部Xはバネ片4dの線上にない。このため、蓋体3はバネ片4dに対して偏心して回動するために、蓋体3を開く作業中、バネ片4dは所定角度で最長に引っ張られる。そして、図4に示すように、さらに角度を与えて蓋体3を完全30 完全に開くと、バネ片4dは収縮し、曲がった状態で維持される。

【0016】蓋体3が閉まるためには、バネ片4dが再度引っ張られて所定角度の状態を乗り越えなければならないため、蓋体3は開いた状態に維持され、容器を傾けても蓋体3が自重で閉じてしまうことはない。なお、蓋体3を開いた際にバネ片4dとキャップ本体2及び蓋体3との干渉を避けるために（図3参照）、係合孔2b、3dの外側には、逃げ空間2f、3fが形成されている。

【0017】以上説明したとおり、ヒンジ4は弾性を有する材質で形成される必要があり、成形材料として一定

4

の制約があるが、キャップ本体2と蓋体3はヒンジ4と別体としているために、かかる制約を受けることなく、例えば硬質の合成樹脂や金属感のある合成樹脂等、多様な材質を一部に用いたヒンジキャップを構成することができる。また、キャップ本体2と蓋体3とは別部材であるため、両者の色を異ならせて、デザイン的に優れた2色模様のヒンジキャップを構成することができる。

【0018】なお、本実施例では、ヒンジの構成として、中央に一つのバネ片を置き、その両側に二つの屈折片を配置したが、反対に、中央に一つの屈折片を置き、その両側に二つのバネ片を配置する構成とすることもできる。

【0019】

【発明の効果】以上説明したように、本発明に係るヒンジキャップによれば、スナップヒンジをキャップ本体と蓋体の周側面に取り付けたため、外観を損なうことがなく、また、これらキャップ本体と蓋体とを別体で構成したために別色で形成することが可能となり、美的外観に優れた容器を構成することができる。

【0020】また、キャップ本体または蓋体をスナップヒンジと別体としたために、弾性を必要とするスナップヒンジの材質的制約を、これらキャップ本体と蓋体は受けないために、形成材料を自由に選択でき、デザインの多様化や機能化を促進することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1実施例のヒンジキャップの分解斜視図である。

【図2】第1実施例のヒンジキャップの側断面図である（蓋体を閉じた状態）。

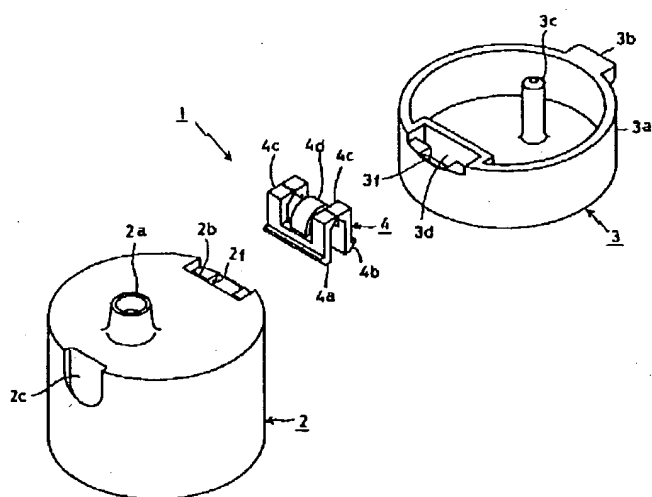
【図3】第1実施例のヒンジキャップの側断面図である（蓋体を開いた状態）。

【図4】第1実施例のヒンジキャップの背面図である。

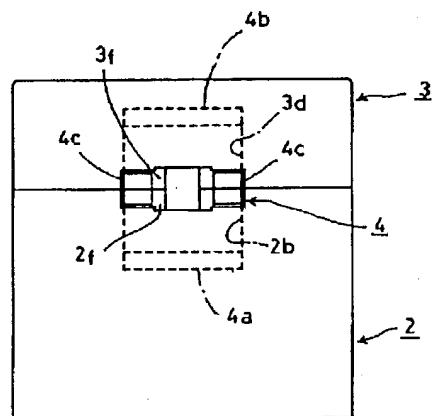
【符号の説明】

- 1・・・ヒンジキャップ
- 2・・・キャップ本体
- 2b・・・係合孔
- 3・・・蓋体
- 3d・・・係合孔
- 4・・・ヒンジ
- 4a、4b・・・係合爪（係合爪）
- 4c・・・屈折片
- 4d・・・バネ片

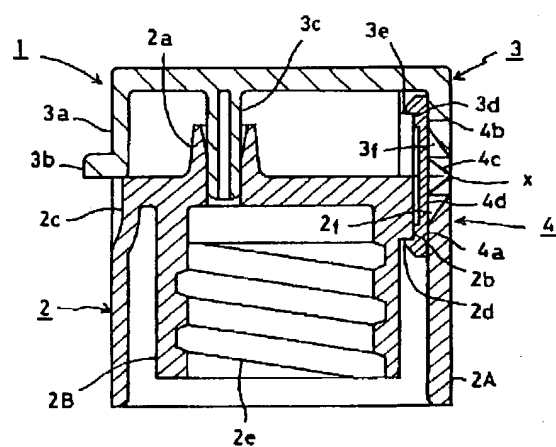
【図1】



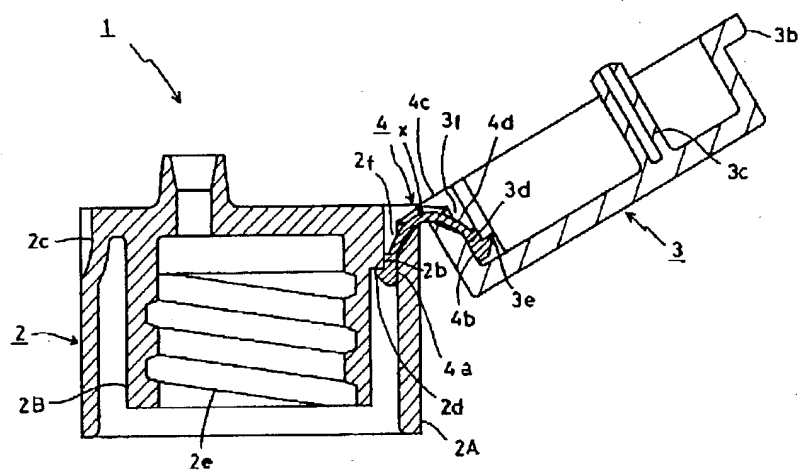
【図4】



【図2】



【図3】



PAT-NO: JP409301403A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09301403 A
TITLE: HINGED CAP
PUBN-DATE: November 25, 1997

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
ISHIKAWA, TATSUO
TEJIMA, KENZO

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
YOSHIDA KOGYO KK <YKK> N/A

APPL-NO: JP08118668
APPL-DATE: May 14, 1996

INT-CL (IPC): B65D047/08, B65D043/16 , B65D043/24

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a hinged cap of which a cap body, lid body, and hinge can be produced each as a separate body from the others and in a color differing from those of the others and which allows, for the cap body and lid body, materials to be selected freely in quality.

SOLUTION: A hinged cap 1 comprises a cap body 2 and a lid body 3 which are joined by a snap hinge 4. These cap body 2, lid body 3, and snap hinge 4 are produced as separate bodies each differing in color or quality from the others. On two opposed sides of the snap hinge 4 fastening parts 4a, 4b are formed and

in the peripheral sides of the cap body 2 and the lid body 3 fastening holes
2b, 3d are formed, the fastening parts 4a, 4b of the snap hinge 4 being
fastened to the fastening holes to join the cap body 2 and the lid body 3.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO